

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公表番号】特表2017-501738(P2017-501738A)  
 【公表日】平成29年1月19日 (2017.1.19)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-003  
 【出願番号】特願2016-545837(P2016-545837)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 0 1 H 1/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 1/00 A

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月5日 (2018.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号：1 のヌクレオチド 1 - 160、1 - 155、1 - 150、もしくは 1 - 114 からなるヌクレオチド配列、または配列番号：1 のヌクレオチド 1 - 160、1 - 155、1 - 150、もしくは 1 - 114 と約 80% から 100% の配列同一性を含むヌクレオチド配列からなるヌクレオチド配列を含む、発現エンハンサーであって、ヌクレオチド配列が天然 CPMV 5' UTR のヌクレオチド 160 の 3' に位置する天然 CPMV RNA - 2 配列由来の核酸を含まない、発現エンハンサー。

【請求項 2】

前記ヌクレオチド配列の 3' 末端に融合される、約 1 から 100 ヌクレオチド長のスタッファー配列をさらに含む、請求項 1 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 3】

スタッファー配列が植物コザック配列を含む、請求項 2 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 4】

スタッファー配列が、マルチブルクローニングサイトをさらに含む、請求項 3 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 5】

コザック配列が配列番号：5 - 17 に示される配列の群から選択される、請求項 3 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 6】

配列番号：2 のヌクレオチド配列を含む、請求項 2 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 7】

配列番号：24、27、68、69、70 および 71 の群から選択されるヌクレオチド配列を含む、請求項 1 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 8】

配列番号：72、73、74、75、76 および 77 の群から選択されるヌクレオチド

配列を含む、請求項 2 に記載の発現エンハンサー。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の発現エンハンサーおよび目的のヌクレオチド配列と作動可能に連結される制御領域を含む核酸配列を含む、植物発現系。

【請求項 10】

コモウイルス 3' UTR をさらに含む、請求項 9 に記載の植物発現系。

【請求項 11】

サイレンシングのサプレッサーをコードする第二の核酸配列をさらに含む、請求項 9 に記載の植物発現系。

【請求項 12】

サイレンシングのサプレッサーが、HcPro および p19 の群から選択される、請求項 11 に記載の植物発現系。

【請求項 13】

制御領域がプラストシアニンプロモーター、CaMV 35S プロモーター、2xCaMV 35S プロモーター、CAS プロモーター、RbcS プロモーター、Ubi プロモーター、またはアクチンプロモーターから選択される、請求項 9 に記載の植物発現系。

【請求項 14】

目的のヌクレオチド配列がウイルスタンパク質または抗体をコードする、請求項 9 に記載の植物発現系。

【請求項 15】

ウイルスタンパク質が H1、H2、H3、H4、H5、H6、H7、H8、H9、H10、H11、H12、H13、H14、H15、H16、およびインフルエンザ B 型ヘマグルチニンからなる群から選択されるインフルエンザヘマグルチニンである、請求項 14 に記載の植物発現系。

【請求項 16】

ウイルスタンパク質または抗体をコードするヌクレオチド配列が、天然シグナルペプチド配列、または非天然シグナルペプチドを含む、請求項 14 に記載の植物発現系。

【請求項 17】

非天然シグナルペプチドがタンパク質ジスルフィドイソメラーゼ (PDI) 由来である、請求項 16 に記載の植物発現系。

【請求項 18】

請求項 9 に記載の植物発現系を、植物または植物の部分に導入すること、および目的のタンパク質をコードするヌクレオチド配列の発現を可能にする条件下で、植物もしくは植物の部分にインキュベートすることを含む、植物または植物の部分において目的のタンパク質を生産する方法。

【請求項 19】

請求項 9 に記載の植物発現系を用いて一時的に遺伝子導入されている、または安定的に形質転換されている、植物または植物の部分。

【請求項 20】

目的のヌクレオチド配列に作動可能に連結される請求項 1 に記載の発現エンハンサーを含む、核酸。

【請求項 21】

目的のヌクレオチド配列が、BHA、C、H1、H2、H3、H4、H5、H6、H7、H8、H9、H10、H11、H12、H13、H14、H15、および H16 から選択されるインフルエンザヘマグルチニン (HA) である、請求項 20 に記載の核酸。

【請求項 22】

HA が、HA の天然膜貫通ドメインが異種膜貫通ドメインと置き換わっている、キメラ HA である、請求項 21 に記載の核酸。

【請求項 23】

異種の膜貫通ドメインが H1 California から得られる、請求項 22 に記載

の核酸。

【請求項 24】

C P M V   R N A - 2 由来配列、配列番号：1 のヌクレオチド 1 - 1 6 0、1 - 1 5 5、1 - 1 5 0、もしくは 1 - 1 1 4 からなる C P M V   R N A - 2 由来配列または配列番号：1 のヌクレオチド 1 - 1 6 0、1 - 1 5 5、1 - 1 5 0、もしくは 1 - 1 1 4 と約 8 0 % から 1 0 0 % の配列同一性を含むヌクレオチド配列からなる C P M V   R N A - 2 由来配列を含む、発現エンハンサー。